

国立大学法人東京農工大学大学院生物システム応用科学府教育規則の一部改正

国立大学法人東京農工大学大学院生物システム応用科学府教育規則を次のとおり改正する。

| 現行 | 改正 | 備考 |
|--|--|----|
| <p>国立大学法人東京農工大学大学院生物システム応用科学府教育規則</p> <p style="text-align: right;">平成16年4月1日 16生教規則第2号</p> <p>第1条～第2条 省略</p> <p>第3条 前期2年の課程（以下「博士前期課程」という。）の授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。 2 博士前期課程の学生は、必修科目1.4単位及び選択科目1.6単位以上あわせて30単位以上を修得しなければならない。 3 省略</p> <p>第4条 後期3年の課程（以下「博士後期課程」という。）の授業科目及び単位数は、別表第2のとおりとする。 2～3 省略</p> <p>第5条～第12条 省略</p> <p style="text-align: center;">附 則 省略</p> <p>「別表」は別紙のとおり</p> | <p>第1条～第2条 省略</p> <p>第3条 前期2年の課程（以下「博士前期課程」という。）の授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。 2 博士前期課程の学生は、必修科目1.9単位及び選択科目1.1単位以上あわせて30単位以上を修得しなければならない。 3 省略</p> <p>第4条 後期3年の課程（以下「博士後期課程」という。）の授業科目及び単位数は、別表第2のとおりとする。 2～3 省略</p> <p>第5条～第12条 省略</p> <p style="text-align: center;">附 則 省略</p> <p>「別表」は別紙のとおり</p> | |

附 則

- 1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日現在在学している者の授業科目の名称及び単位数並びに必修又は選択の別、教育課程については、施行後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

| | | | |
|-------------|------------|-------------------|---|
| 循環生産システムコース | 論文研究等 | 生体機構情報システム学アドバンスド | 1 |
| | | 生体機構情報システム学セミナー | 4 |
| | | 生体機構情報システム学特別実験 | 2 |
| | | 生体機構情報システム学特別研究 | 4 |
| | 分野交流科目 | 循環生産システム学合同セミナー | 2 |
| | | 循環生産システム学実践発表 | 1 |
| | | 循環生産システム学実践発表 | 1 |
| | | 循環生産システム学実践発表 | 1 |
| | 専門分野科目 | 生態系型生産システム特論 | 2 |
| | | 生態系型生産システム特論 | 2 |
| | | 生物関連システム特論 | 2 |
| | | 生物関連システム特論 | 2 |
| | | 資源循環利用システム特論 | 2 |
| | | 資源循環利用システム特論 | 2 |
| | | 生物・環境計測システム特論 | 2 |
| | | 生物・環境計測システム特論 | 2 |
| | アドバンスド教育科目 | 循環生産システム学アドバンスド | 1 |
| | | 循環生産システム学アドバンスド | 1 |
| | 論文研究等 | 循環生産システム学セミナー | 4 |
| | | 循環生産システム学特別実験 | 2 |
| | | 循環生産システム学特別研究 | 4 |
| | | 循環生産システム学特別研究 | 4 |
| 起業科目 | アントレプレナー特論 | 2 | |
| | アントレプレナー特論 | 2 | |
| | アントレプレナー特論 | 2 | |

- 備考 1. 学生は、物質機能システムコース、生体機構情報システムコース、循環生産システムコースの中から1コースを選択すること。
2. 学際交流科目、融合基礎科目については、必修とする。(印)
3. 分野交流科目及び論文研究等については、それぞれ選択したコースの科目を必修とする。(印)
4. 専門分野科目及び特別講義科目については、それぞれ選択したコースの中から4単位以上を修得すること。
5. 印の科目は年度によって開講しない場合がある。

| | | | |
|-------------|------------|-----------------|---|
| 循環生産システムコース | 論文研究等 | 生体機構情報システム学セミナー | 4 |
| | | 生体機構情報システム学特別実験 | 2 |
| | | 生体機構情報システム学特別研究 | 4 |
| | | 生体機構情報システム学特別研究 | 4 |
| | 専門分野科目 | 生態系型生産システム特論 | 2 |
| | | 生態系型生産システム特論 | 2 |
| | | 生物関連システム特論 | 2 |
| | | 生物関連システム特論 | 2 |
| | | 資源循環利用システム特論 | 2 |
| | | 資源循環利用システム特論 | 2 |
| | | 生物・環境計測システム特論 | 2 |
| | | 生物・環境計測システム特論 | 2 |
| | アドバンスド教育科目 | 循環生産システム学アドバンスド | 1 |
| | | 循環生産システム学アドバンスド | 1 |
| | 論文研究等 | 循環生産システム学セミナー | 4 |
| | | 循環生産システム学特別実験 | 2 |
| | | 循環生産システム学特別研究 | 4 |

- 備考 1. 印の授業科目は必修とする。
2. 起業科目については選択必修とし、印の授業科目から2単位以上を修得すること。
3. 印の授業科目については、それぞれ所属するコースの科目を必修とする。
4. 専門分野科目については、それぞれ所属するコースの科目から4単位以上を修得すること。
5. アドバンスド教育科目については選択必修とし、それぞれ所属するコースの印の授業科目から2単位以上を修得すること。また、印の授業科目以外のアドバンスド科目については、年度によって開講しない場合がある。

| 現行 | | | 改正 | | | 備考 | |
|---|-------------------|-------------------|---|-----------------|-------------------|---------------|-------------------|
| 別表第2(第4条関係) (博士後期課程) 生物システム応用科学専攻 | | | 別表第2(第4条関係) (博士後期課程) 生物システム応用科学専攻 | | | | |
| 科目区分 | 授業科目 | 単位数 | 科目区分 | 授業科目 | 単位数 | | |
| 物質機能システムコース | 専門分野 科目 | 機能材料設計特論 | 2 | 物質機能システムコース | 分野交流科目 | 実践英語発表 | 1 |
| | | 物質機能開発特論 | 2 | | 実践英語発表 | 1 | |
| | | 触媒機能応用特論 | 2 | | 機能材料設計特論 | 2 | |
| | | 機能物質設計特論 | 2 | | 物質機能開発特論 | 2 | |
| | | エネルギー材料システム特論 | 2 | | 機能物質設計特論 | 2 | |
| | | 反応工学特論 | 2 | | 触媒機能応用特論 | 2 | |
| | | 分子システム設計特論 | 2 | | エネルギー材料システム特論 | 2 | |
| | | 生物分子分光光学特論 | 2 | | 反応工学特論 | 2 | |
| | | 物質機能システム学実践英語発表 | 1 | | 分子システム設計特論 | 2 | |
| | 物質機能システム学実践英語発表 | 1 | 生物分子分光光学特論 | | 2 | | |
| 論文 | 物質機能システム学特別セミナー | 2 | 論文 | 物質機能システム学特別セミナー | 2 | | |
| 研究等 | 物質機能システム学特別計画研究 | 6 | 研究等 | 物質機能システム学特別計画研究 | 6 | | |
| 生体機構情報システムコース | 専門分野 科目 | 生命機械システム特論 | 2 | 生体機構情報システムコース | 専門分野 科目 | 生命機械システム特論 | 2 |
| | | 環境エネルギーシステム特論 | 2 | | | 環境エネルギーシステム特論 | 2 |
| | | 生体システム特論 | 2 | | | 生体システム特論 | 2 |
| | | 生体情報処理特論 | 2 | | | 生体情報処理特論 | 2 |
| | | 視覚信号処理特論 | 2 | | | 視覚信号処理特論 | 2 |
| | | 視覚情報伝達特論 | 2 | | | 視覚情報伝達特論 | 2 |
| | | 数値制御運動特論 | 2 | | | 人工物創成システム特論 | 2 |
| | | 人工物創成システム特論 | 2 | | | 数値制御運動特論 | 2 |
| | | 生体機構情報システム学実践英語発表 | 1 | | | 論文 | 生体機構情報システム学特別セミナー |
| | 生体機構情報システム学実践英語発表 | 1 | 研究等 | | 生体機構情報システム学特別計画研究 | 6 | |
| 論文 | 生体機構情報システム学特別セミナー | 2 | | | | | |
| 研究等 | 生体機構情報システム学特別計画研究 | 6 | | | | | |
| 循環生産システムコース | 専門分野 科目 | ファイトテクノロジー特論 | 2 | 循環生産システムコース | 専門分野 科目 | ファイトテクノロジー特論 | 2 |
| | | 土壌生態系機能解析特論 | 2 | | | 土壌生態系機能解析特論 | 2 |
| | | 生物特異的認識特論 | 2 | | | 生物特異的認識特論 | 2 |
| | | 生物コミュニケーション特論 | 2 | | | 生物コミュニケーション特論 | 2 |
| | | 資源生産制御特論 | 2 | | | 資源生産制御特論 | 2 |
| | | 生物資源循環制御特論 | 2 | | | 生物資源循環制御特論 | 2 |
| | | バイオセンシング特論 | 2 | | | バイオセンシング特論 | 2 |
| | | 生体電気計測特論 | 2 | | | 生体電気計測特論 | 2 |
| | | 循環生産システム学実践英語発表 | 1 | | | 論文 | 循環生産システム学特別セミナー |
| | 循環生産システム学実践英語発表 | 1 | 研究等 | | 循環生産システム学特別計画研究 | 6 | |

| | | |
|-----|-----------------|---|
| 論文 | 循環生産システム学特別セミナー | 2 |
| 研究等 | 循環生産システム学特別計画研究 | 6 |

- 備考 1. 学生は、物質機能システムコース、生体機構情報システムコース、循環生産システムコースの中から1コースを選択すること。
2. 論文研究等については、それぞれ選択したコースの科目を必修とする。
3. 専門分野科目については、それぞれ選択したコースの科目4単位を修得すること。

- 備考 1. 所属するコースの 印の授業科目については、必修とする。
2. 分野交流科目及び選択したコースの専門分野科目の中から4単位を修得すること。